

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	持続可能なスマートモビリティ向け情報基盤プラットフォーム研究
研究代表者	福田 晃（九州大学・大学院システム情報科学研究所・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>本研究は、ソフトウェア中心の大規模システムで問題となる開発時と運用時の齟齬を解消するシステム化技術に関わるものであり、実用システム開発の場で、個別に行われている現状の課題に、学術的な解を提示することを目的としている。不確実な要求事項の取扱い、開発から運用までの追跡性確保等の個別技術を統合化するプラットフォーム研究に特徴がある。</p> <p>本研究は、産業界や地元行政が関わる実証的な取組が不可欠であり、その中核組織として、学内の研究開発センターを準備している。これによって後継者の育成も期待できる。本研究は、日本で手薄な大規模ソフトウェアのシステム化に関する研究であり、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>